



現地立会い確認不要！！



いつもしっかり管理を！！

最新技術、ドローン、航空写真、IT技術等を活用するよう関係者に依頼し、何十年かかる地籍調査事業を前倒する考



ふじい まさひこ 議員
藤井 昌彦 議員

えはないか。
町長 本町の地籍調査事業の進捗率は令和8年3月末時点での見込みで19・6%です。各区の進捗率は、香住区で3・4%、村岡区で14・5%、小代区では68・7%です。県では、令和3年度に航空レーザー測量を行っており、その成果も活用可

能となつていきますので、新たにドローンなどで測量を行う必要はありません。そのため、山林部の地籍調査は、土地所有者の安全確保と負担軽減の観点から、航空測法を活用した地籍調査、県におけるスマート地籍調査が推進されています。この調査方法は、現地による

1回の筆界杭の設置を行わず、筆界案を公民館などで確認します。事業費は従来と比較して若干安価になり、事業期間の短縮も見込めますので、この調査手法の導入を検討しています。

地籍調査に最新技術を！！
新しい技術方法を検討します



火事による惨事を最小限にとどめるためには、初期消火のための消火器とともに、消火栓設備の重要性は言うまでもあ



みづか おさむ 議員
見塚 修 議員

りません。
平常時の消火栓管理は①消火栓の器具箱及び器具の管理
②消火栓本体の管理、作動点検、除雪等
でありますが、消防団と自主防災会との管理点検の分担の仕分けはどのよう

に指導されていますか。自主防災会に依頼され
てはどうか伺う。
また、消火栓は一般的に65mmのホースと筒先が使用されているが、初期消火の際は高齢者や女性

が操作する場合もある。水圧の関係から連結金具等の使用で、小口径対応の考えはないか。
町長 消火栓器具箱及び器具の管理、消火栓
の平時の管理点検及び消火栓周りの除雪も、消防団により実施していただいております。今後も消防団で行っていただくように考えています。
また、65mm対応の件は、費用面等から難しく、現在配備の資機材の活用を考えています。

消火栓管理は消防団、自主防災会
消防団で実施します

